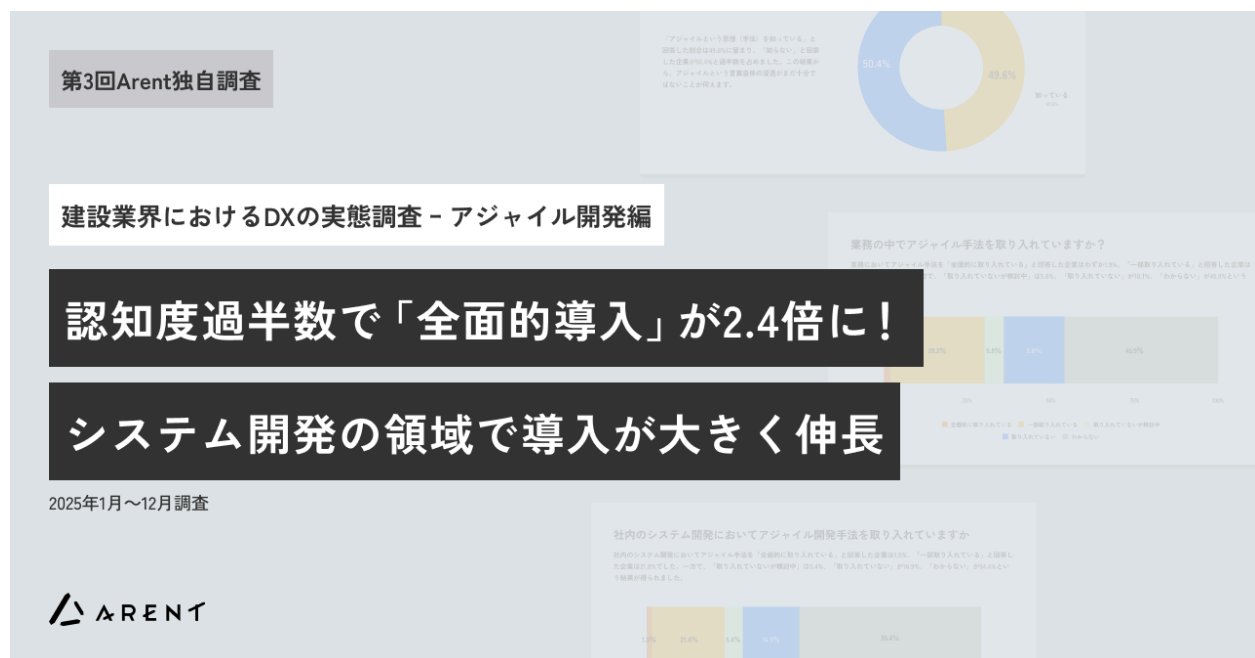


2025年3月2日
株式会社Arent

【第3回Arent調査④ アジャイル開発編】 建設業界でアジャイル開発の認知度が過半数突破 業務での採用は3割超え、「全面的導入」は2.4倍に急増。 システム開発領域での導入が特に伸長



建設DXを推進する株式会社Arent（本社：東京都港区）は、2025年1月から12月にかけて建設業界従事者を対象に実施したアジャイル開発に関するアンケート調査の結果を発表しました。

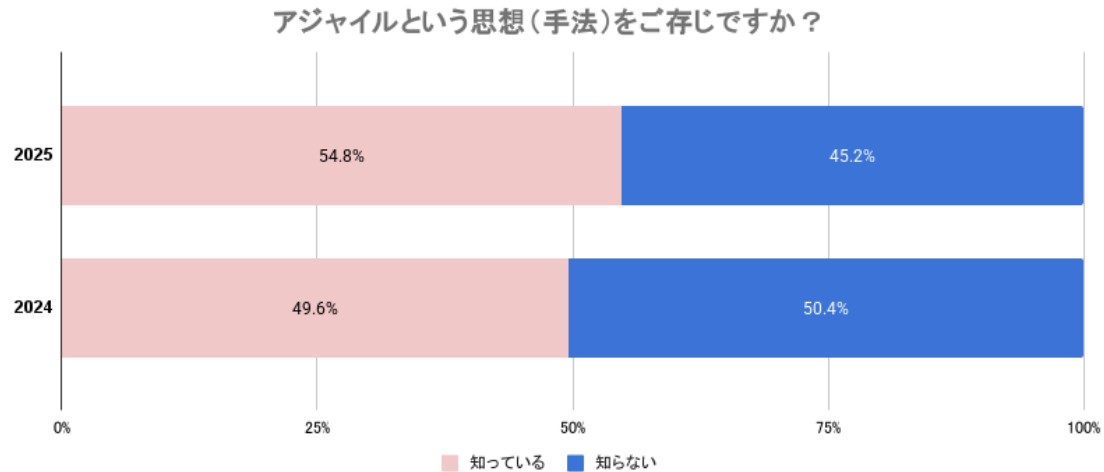
本調査から、アジャイル開発手法の認知度が過半数を超え、実際の業務やシステム開発への導入も着実に進んでいることが確認されました。特に、アジャイルを「全面的に取り入れている」企業の割合は2.4倍に急増しており、一部の企業ではDXが実行フェーズから定着フェーズへと移行しつつあることを示唆しています。

建設業界においても、内製化やスピード感のあるシステム改善の必要性が高まる中で、アジャイル開発が重要な役割を担い始めています。

主要な調査結果

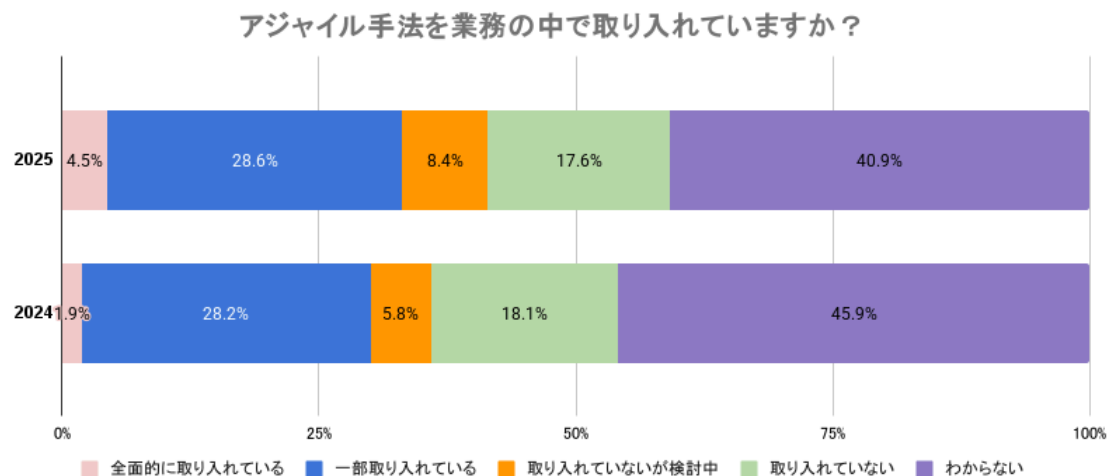
- **アジャイル手法の認知度は過半数を超え、着実に上昇**

アジャイルという思想（手法）を「知っている」と回答した企業の割合は、2024年の49.6%から2025年には54.8%へと5.2ポイント上昇し、過半数を超えました。



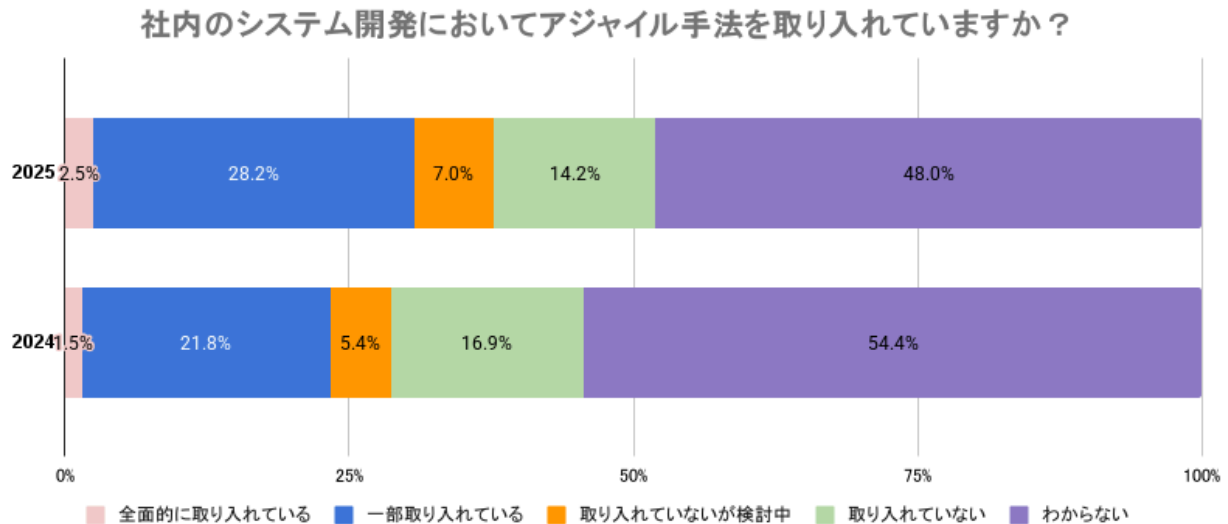
- **業務でのアジャイル手法採用は3割超え。「全面的導入」は2.4倍に急増**

アジャイル手法を業務の中で「全面的に取り入れている」と「一部取り入れている」を合わせた割合は33.1%に増加。特に「全面的に取り入れている」という回答は1.9%から4.5%へと2.4倍に急増し、本格的な導入フェーズに入っている企業があることが明らかになりました。



- **システム開発におけるアジャイル導入は7.4ポイント増と大きく伸長**

社内システム開発におけるアジャイル手法の導入率は、23.3%から30.7%へと7.4ポイントの大幅な増加を示しました。建設業界においても、システム開発の領域でアジャイルが有効な手段として認識され始めていることが裏付けられます。一方で約半数（48.0%）が依然として「わからない」と回答しており、業界全体でのさらなる知識普及と、建設特有の課題を解決した成功事例の共有が求められています。



調査結果

▼前年の調査結果を含めて以下でもご覧いただけます

<https://note.com/arent3d/m/m0343cb8037ed>

調査概要

調査実施者: 株式会社Arent

調査方法: イベント現地でのアンケート

調査対象: 建設業界従事者

有効回答数: 411件

調査時期: 2025年1月～2025年12月

＜本件に関するお問合せ＞

info@arent3d.com

以上